

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 年 月 日

事業所名:

保護者等数(児童数)

回収数

割合 %

区分	チェック項目	保護者等数(児童数)				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1	1				
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	2					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2					
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	2					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1			1		

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われているか	1			1		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	1				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			1		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2					
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	2						
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1			1		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			1		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	2					
	23 事業所の支援に満足しているか	2					

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向け 支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	「10人となっているが、面積は足りても療育グッズ、テーブルイスなど足りない。」「現在は適切。定員が10名だとスペース的には利用可能だが、活動内容がスタッフ人数に対すると10名は多すぎる。5名+5名の2部制だと尚良い。」
	2	職員の配置数は適切であるか	1	2	「今後のことを考えると足りないので不安です。」「現状は利用が少ないのでいいが、利用増を見越したスタッフの増員は必要である。」「現在は適切。」
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	0	「パーティションを導入したことで、スッキリと区切られた空間にはなった。ももとのトイレの配置、窓やドアの音など、環境による工夫はこれからも必要である。」「この夏からパーティションを導入し、部屋と活動毎に区切ることが可能になったので、利用児にとってわかりやすい環境になった」
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	0	「日々の掃除機、モップかけ、机やおもちゃの消毒をしている。／活動によって部屋を分けている。」
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	0	「月1の活動内容に関するミーティング、日々の打ち合わせーフィードバック。」
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	0	0	「今回の保護者会で初めて評価表を配布したので、改善すべき点等あればきちんと把握し、良い方向へつなげていきたい。」「わからない」
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	1	「評価表の結果を会議などで共有できれば良いと思います。」「わからない」
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	「第三者評価の実施を拝見したことがないので業務改善にはつなげられていないです。」「わからない」
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	1	△1。「研修は自主的に、希望する場合のみ。」
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	0	「職員や、外部の心理士さんとのアセスメント会議を実施。保護者とのモニタリング。」
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	0	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	「自分たちでは迷うこともあるのでスーパーバイザーの存在が欲しいと思っている。でんでん虫の先生が名乗りを上げてくださったが、なかなか時間が作れずそのままになっている。」「把握しきれいなくてわかりません。」
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	「月1の活動予定ミーティングと日々の振り返りでアイデアを出しあっている。」
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	「利用児ひとりひとりの成長段階に合わせたプログラムを設定している。」
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	0	「今は子供が少ないので、一人の時、友達と一緒にするときで配慮している。」
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	0	「わからない」「把握しきれていないのでわかりません。」
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	0	1	「わからない」「心理士の先生をお呼びして利用児を観察→支援方法を共に考えていただいている。」
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	「わからない」
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	0	「わからない」
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	1	「これから連携をとり、情報共有していきたいです。」「わからない」「利用児が通う保育園とのケース会議の実施。日々の情報の共有。」
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	1	「わからない」「把握しきれていないのでわかりません。」
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	「まだわずかなパイプしかないので、今後もっと増やしていくべき。利用児の増加に努める。」
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	3	「あまりありません。」
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	3	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	「カメラで写真や映像を残し、帰りに伝えている。」「保護者がお迎えに来た際に、その日の活動をフィードバックする。」
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	2	△1。「紙面にはしていないが、日々のフィードバックなどの際に、支援やかかわり方のアドバイスなどはしている。同時に家庭での対応方法もお聞きし、共有できるようにしている。」
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	0	「把握していません。」
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	2	0	「私は把握していません。」
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	0	「日々のフィードバックの際にはお話しできる時間を取っているが、定期的にあるかはわかりません。」
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	「保護者同士の連携には至ってないです。」
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	「生活スキルから、学習的な面まで保護者から要望があれば応じた対応がとれるように支援している。」
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	2	「会報を発行しているかはわかりません。」
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	「日々の活動のフィードバックの時間の確保(お迎え等)」
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	0	「ここからまつり」

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	1	「充分ではない」「防犯マニュアルはまだ実施していません。」
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1	「充分ではない」
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	0	「今は該当する子どもがいない」
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	2	「虐待防止マニュアルの回覧と周知」
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	2	

事業所スタッフによるフィードバック

保護者向け評価表について	
環境・体制整備について(1～4)	療育内容によってスペースを使い分け、子供たちが活動しやすい環境になるよう職員でアイデアを出し合い、よりよい環境への工夫に取り組んでおります。。また、清掃については活動後に毎日行い、次亜塩素酸ナトリウム溶液やヒビテン液で消毒を行っています。
適切な支援の提供について(5～9)	隣接する北烏山なごみ保育園との連携が30年度より少しずつ始まっており、今後保育園児との交流の機会を増やしていけるよう、保育園の先生と協力していきたいと考えております。
保護者への説明等(10～19)	ペアレントトレーニングについて、当法人で受託している地域子育て支援センターの職員や療育部門で長年相談支援を務めている職員に協力を仰ぎ、日々の悩みを相談できる場や親子で療育を楽しめる場を提供していきたいと考えております。
非常時等の対応(20～21)	マニュアルの一部不備や、避難訓練の不足について、事業所内で担当の委員会を設置し、様々なケースに対応できるよう計画的に体制を整えていきたいと考えております。当事業所2F、3Fのグループホームや、隣の保育園との合同訓練も来年度には実施できるよう努めてまいります。
満足度(22～23)	利用者様にとっても、職員にとってもより良い事業所になるようこれからも努めてまいります。

事業者向け評価表について	
環境・体制整備について(1～3)	職員の配置について、今後ご利用のお子さまが増えるにつれて職員を増員する予定です。環境の構造化について、職員で工夫して子供たちが集中できる空間を整えております。
業務改善について(4～8)	第三者評価について、現在のところ当事業所では未実施となっております。2019年度中、遅くとも2020年度中には必ず実施するよう計画的を立てて業務を改善してまいります。また、研修については職員自身が希望する研修のほか、行政が主催する人権擁護研修等や法人内で行われる研修にも参加を呼び掛けております。
適切な支援の提供(9～19)	スタッフ間での事前の打ち合わせや、支援終了後のフィードバック、週案による提供プログラム内容の検討や個別のケース会議など、提供するサービスの質の向上に努めております。スーパーバイザーについて、法人内の療育部門から先生をお招きしているほか、臨床心理士の先生に発達支援のアドバイスを頂いております。職員がより自信をもって療育に臨めるよう工夫していきたいと考えております。
関係機関や保護者との連携(20～29)	当事業所には現在、医療的ケアが必要なお子さまはおりません。地域の関係機関との連携強化がまだまだ弱いですが、今後ご利用のお子さまが増えるごとに関係機関との連携を重ね、少しずつ地域での協力関係を強化していきたいと考えております。
保護者への説明責任等(30～37)	お迎えの時に、フォトフレームを使って保護者さまに今日一日の活動内容をお伝えしています。今後、放課後等デイサービスの様子も含めて広報したいと考えておりますが、個人情報保護の関係もあり現在保留となっております。日々の活動の様子が保護者さまに伝わるよう、何らかの形で実現したいと思っております。
非常時の対応(38～43)	平成30年度より、新体制として一般職員で構成される委員会が発足し、虐待防止・権利擁護については徹底して周知に努めてきたほか、アレルギーへの対応など命に係わることについての事業所内研修やヒヤリハットの積極的な提出についても指導に力をいれております。非常災害時の対応についても、委員会により計画的に訓練し、いざというときにしっかり対応できるように備えていきたいと考えております。